

第41回全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島県大会

開催要項

1 目的

日本における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国民の相互理解と友情を深めることに寄与することを目的とする。

第41回全日本中国語スピーチコンテスト（以下「全国大会」という）へ各都道府県代表を推薦する予選大会の性格を持つ。

2 開催時期・会場

日時：2023年10月22日（日） 12:00 開会（11:30 開場）
12:10 朗読部門・スピーチ部門開始
14:30 休憩（審査）
15:00 成績発表、表彰式、審査員長講評
16:00 閉会
（部門の順番、時間はいずれも予定）

会場：鹿児島市国際交流センター 多目的ホール

鹿児島市加治屋町 19-18(旧市立病院立体駐車場跡) 099-226-5931

3 主催・後援等

主催：鹿児島県日中友好協会、鹿児島市日中友好協会

（以下予定）

後援（順不同）：中華人民共和国駐福岡総領事館、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、

4 部門について

スピーチ部門（大学生部門、高校生部門、一般部門）、朗読部門（大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部、一般の部）の2部門とする

スピーチ部門

1. 全国大会の出場について

3部門からなり、出場者数は「大学生部門」、「高校生部門」、「一般部門」とする。

※鹿児島県と近隣県の出場可。各県1位を、全国大会への出場者として推薦する。

※専門学校生、高専4年生以上は大学生部門とする。

2. 参加資格

以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

■ 3部門共通条項—

①日本国籍を有しない者

②中国語を母語（*注1）とする者

③両親のいずれかが中国語を母語とする者

④中国語を主に授業を行なっている学校（中華学校など）に在学中の者、在学した者、卒業した者

⑤中国語を日常語とする地域に通算13ヶ月以上留学または滞在したことがある者

⑥業務として中国語を日常的に使用したことがある者、または現在使用している者

⑦過去、全国大会において優勝した者

*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語（最初に自然に身につけた言語）

■ 「大学生部門」のみの出場不可条項—

①日本の大学（含短大）、大学院、専門学校（*注2）、高専4年生以上に在学していない者

②出場時の年齢が30歳以上の者（「一般部門」から出場すること）

*注2 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す

■ 「高校生部門」のみの出場不可条項—

①日本の高校に在学していない者

■ 「一般部門」のみの出場不可条項—

①2008年4月2日以降に生まれた者（すなわち中学生以下）

②大学、大学院、専門学校（専門学校については大学生部門条項*注2を参照）に在学している者（ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない）

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

3. テーマおよび審査

*テーマ：「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」ともに自由テーマ（5分以内）
—参考（前回の受賞者のテーマ）—

第38回「大学生部門」／「交流の意義」「2020：コロナ下での私の挑戦」「北京が教えてくれた事」
「高校生」／「遥かなる未来を切り開いて」「中国からの友達」
「道半ばで終わりをむかえた留学生活」
「一般部門」／「好きこそものの上手なれ」「自分は自分」「言葉は世界をつなぐ平和の礎」
第40回「大学生部門」／「中国語が私にくれた希望」
「高校生」／「コロナ禍のペット事情」「僕の悩み」「信じる道を突き進む」
「一般部門」／「あなたも中国語を勉強してみませんか？」
「中国語の歌で広がる世界」

*審査

- ・各人のスピーチ（原則として原稿は見ないこと）と審査員による質疑応答（1分前後）を行う
- ・審査基準：①正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか
※ただし歌などのパフォーマンスは不可
②テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か
③内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか
- ・審査員：大学教授、国際交流員ほか（予定）

4. 表彰

- ・スピーチ終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
大学生部門・・・第1位～3位
高校生部門・・・第1位～3位
一般部門・・・第1位～3位
- ・1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する。

5. その他

原則各部門1位は全国大会出場を推薦する。ただし、各県1位とする。

（例えば、宮崎県出場者が1位、鹿児島県出場者が2位の場合、2名とも推薦する）

- ・全国大会への推薦は各部門上位1名とする。（ただし、複数県出場の場合、各県の上位1位とする）
- ・全国大会は2024年1月7日（日）に東京・飯田橋日中友好会館地下大ホールにて開催予定。
- ・スピーチコンテストの被推薦者が、全国大会の予備審査を経て、全国大会へ出場することとなった場合、鹿児島県に本籍または住民票を有する者については鹿児島県日中友好協会より東京までの旅費補助として1人当たり金3万円が授与される。（鹿児島県以外に本籍または住民票を有する者については、自費での出場をお願いする。）

6 エントリー方法

- ・ スピーチコンテストへの参加を希望される方は、以下の書類を **10月13日(金) 必着** で鹿児島大会事務局まで **郵送にて** 提出すること。
 - ① エントリー用紙（鹿児島県日中友好協会 HP (<http://jc-kgs.com/>) からダウンロードして下さい)
 - ② スピーチ原稿コピー 中国語と日本語各1通

<エントリー用紙送付先>

〒890-0056

鹿児島市下荒田4丁目48-18-1001

鹿児島県日中友好協会

全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島大会事務局 宛

問い合わせ電話番号：090-7468-5091（松木）

朗 読 部 門

1 目的

中国語学習を始めて一定期間以内の者を対象とし、更なる中国語の普及と質の向上を目的とする。

第41回全日本中国語スピーチコンテスト（以下「全国大会」という）へ各都道府県代表を推薦する予選大会の性格を持つ。

2. 参加資格

以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

■3部共通条項—

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 中国語を母語(注3)とする者
- ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者
- ⑤ 中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)した経験のある者
- ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦ 高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で都道府県大会出場時に学習期間2年を超えている者。
- ⑧ 専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習)の内で都道府県大会出場時に学習期間4年を超えている者。ただし、「一般の部」出場者に関しては、60歳以上で初めて中国語学習を始めたものは学習期間を問わない。

*注3 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)

■「大学生・大学院生の部」のみの出場不可条項—

- ①日本の大学(含短大)、大学院、専門学校(*注4)、高専4年以上に在学していない者

*注4 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す

■「中学生・高校生の部」のみの出場不可条項—

- ①日本の中学、高校に在学していない者

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

3 課題文および審査

- ・ 審査：各人が課題文を朗読し、審査を行う。
- ・ 審査基準：発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。
- ・ 審査員（予定）：スピーチ部門と同じ

※ 各部門の課題文は、鹿児島県日中友好協会 HP (<http://jc-kgs.com/>) からダウンロードして下さい

7 表彰

- ・ スピーチ及び朗読発表終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
大学・大学院部門；第1位～3位
中学・高校部門 ；第1位～3位
一般部門 ；第1位～3位
- ・ 全国大会への推薦は各部門上位1名とする。（ただし、複数県出場の場合、各県の上位1位とする）
- ・ 全国大会への推薦者は音源審査にて入賞者（優秀賞）が12月上旬に決定する。
- ・ 音源審査入賞者（優秀賞）は2024年1月7日（日）に東京・飯田橋日中友好会館地下大ホールにて開催予定の全国大会で、表彰および朗読発表を行う。
- ・ 朗読発表の被推薦者が、音源審査を経て、全国大会で表彰および朗読発表を行うこととなった場合、鹿児島県に本籍または住民票を有するについては鹿児島県日中友好協会より東京までの旅費補助として1人当たり金3万円が授与される。（鹿児島県以外に本籍または住民票を有する者については、自費での出場をお願いする。）

8 エントリー方法

- ・ スピーチコンテスト朗読部門への参加を希望される方は、以下の書類を **10月13日(金)** **必着** で鹿児島大会事務局まで **郵送にて** 提出すること。
① エントリー用紙（鹿児島県日中友好協会 HP）からダウンロードして下さい

<エントリー用紙送付先>

〒890-0056

鹿児島市下荒田4丁目48-18-1001

鹿児島県日中友好協会

全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島大会事務局 宛

問い合わせ電話番号：090-7468-5091（松木）